

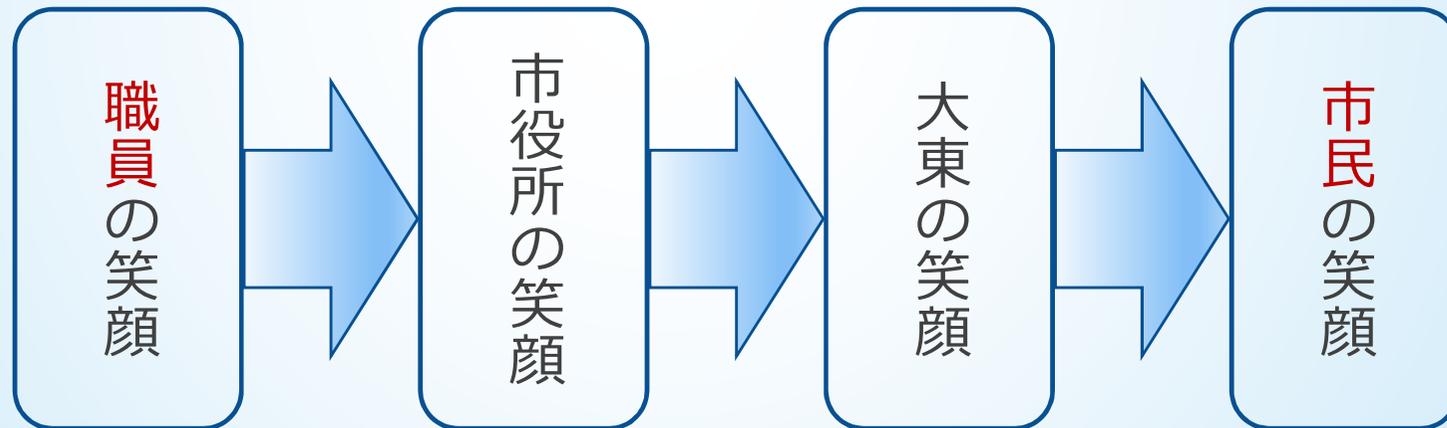


# 大東市行政改革指針（案）

# キャッチフレーズ

## みんなで笑顔をプロデュース

～市民と職員の笑顔を生み出す行革～



## キャッチフレーズ（みんなで笑顔をプロデュース）

近年では「ワーク・ライフ・バランス」という言葉に表現されるように、長時間労働の是正や仕事と家庭生活・余暇との調和を実現することが求められています。生産性の向上を図りながら業務の成果を生み出すためには、働く側である私たち職員自身の意識を改革することが必要不可欠です。

一方、現在の大東市においては、日本社会共通の課題でもある少子高齢化・生産年齢人口減少に伴う社会保障費の増大等による経常収支の悪化、および人口急増期に建設された公共施設・インフラの老朽化とその更新、という2つの大きな財政的課題に直面しています。

このような状況のもと、将来にわたって持続可能な大東市を維持し、「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」をさらに推進していくためには、まず職員自身が笑顔で働ける状況でなければなりません。そのためには職員一人ひとりの働き方に対する改革が必要です。

職員一人ひとりの笑顔が市役所の笑顔を生み、市役所の笑顔が大東の笑顔を生み、大東の笑顔が市民一人ひとりの笑顔を生むのです。

市民と職員の笑顔を生み出す行革、「みんなで笑顔をプロデュース」する行政改革を進めていきましょう。

# 基本方針（2本の柱）

## ① 職員が心からの笑顔で業務に取り組むことで、市民の幸せにつなげる

職員一人ひとりの笑顔と幸せが市役所の笑顔と幸せを生み、市役所の笑顔と幸せが大東市民の笑顔と幸せを生むという、好循環を実現します。

業務改革・業務改善等を通じて生産性の向上を図るとともにワーク・ライフ・バランスを実現し、職員一人ひとりが笑顔で業務に取り組める環境づくりを行います。

## ② 行政運営のスリム化を図るとともに安定的な財源を確保し、持続可能な財政運営を実現する

従来型の行政改革で取り組んできたような「量的な削減」だけでは、将来にわたって持続可能な財政運営を実現するには限界があります。

行政が担うべき新たな業務・サービスについては積極的に民間にゆだね、スリムで効率的な行政運営体制を確立していきます。

また、新たな歳入を確保すると共に、現行業務について行政が担うべきかどうか再検証のうえで、さらなる民間委託化の推進や既存の公共施設の存廃も含めた再編・統合を実現し、経常的な収支の改善を図ることで、安定的な財政運営を実現します。

# 実現するための取組み

---

- ①職員が心からの笑顔で業務に取り組むことで、  
市民の幸せにつなげる
  - i **職員が生き生きとやる気を持つための取組み**
  - ii **業務改善による効率的な業務の実現（個々の職員レベルでの生産性の向上）**
  - iii **業務改革による取組み（組織で取り組むもの）**
  
- ②行政運営のスリム化を図るとともに安定的な財源を確保し、  
持続可能な財政運営を実現する
  - iv **民間委託の可能性検証、推進**
  - v **経常的な経費の見直しと歳入の拡大**

## i 職員が生き生きとやる気を持つための取組み

No	取組内容	目的	期待できる効果
①	日報等を活用した業務の定量化	各業務の業務量の把握と各業務に要した時間の意識付け	業務量に応じた適切な人員配置
②	ICT、RPA、AIの活用	行政運営の効率化	職員の負担軽減、費用削減
③	ワークライフバランスに関する職員への啓発	庁内風土の改革	職員の笑顔を通じて市民の笑顔へ
④	ポジティブ・シンキング運動への取組み	職員の笑顔につなげる	個人の活性化 ⇒ 職場の活性化
⑤	メンタルヘルスキアの強化	メンタルヘルス対応 組織の活性化、職員の笑顔のために	長期病欠の未然防止 個々のパフォーマンスを最大限に発揮させ、全体のパフォーマンスを引き上げる
⑥	職員アンケートの実施	職員の意識、不満の把握	改善項目の把握
⑦	給与制度の見直し	職員のモチベーション向上	組織の活性化

## ii 業務改善による効率的な業務の実現 (個々の職員レベルでの生産性の向上)

No	取組内容	目的	期待できる効果
①	職員事務改善・提案制度の簡素化	個人でも提案しやすい環境の整備	提案の実現による業務効率化
②	無駄、過剰な業務の廃止 (個人レベルの業務の仕分け)	業務の効率化	生産性の向上、コストパフォーマンスの向上
③	年次有給休暇の計画表の作成	年次有給休暇取得率の向上	ライフの充実を通じて仕事への活力の増大
④	自分だけノー残業デーの設定	残業の削減	ライフの充実を通じて仕事への活力の増大

### iii 業務改革による取組み (組織で取り組むもの)

No	取組内容	目的	期待できる効果
①	柔軟な業務応援体制の構築	労働時間の平準化	効率アップ、職員の負担軽減
②	インターネット環境の拡充・改善	業務の効率化	生産性の向上
③	日曜日の庁舎出入禁止 (イベント・災害対応等以外)	職員の意識改革	ライフの充実を通じて仕事への活力の増大
④	ノー残業デーの拡大	時間外勤務の縮減	ライフの充実を通じて仕事への活力の増大
⑤	強制退庁時間の設定	時間外勤務の縮減	時間外勤務手当削減、ライフの充実
⑥	各課ヒアリングの実施 (課レベルの業務の仕分け)	業務の洗い出し	現場からの声による業務改善の実現
⑦	効果的・効率的な職場環境の見直し	働きやすい職場環境の実現 業務の効率化	生産性の向上・コストパフォーマンスの向上
⑧	会議のあり方検討	会議にかかる労力の軽減	会議にかかる時間的負担、コスト負担の軽減
⑨	機動的な組織機構の検討	機動的な組織機構の実現	市民サービスの向上

## iv 民間委託の可能性検証、推進

No	取組内容	目的	期待できる効果
①	公共施設の管理運営の民間委託・指定管理化の推進	経費削減、職員負担軽減、市民サービス向上	効率的な行政運営が可能
②	部分的に委託可能な業務の洗い出しと委託化	経費削減、職員負担軽減、市民サービス向上	効率的な行政運営が可能
③	個別の窓口業務の委託化	経費削減、職員負担軽減、市民サービス向上	効率的な行政運営が可能
④	包括管理業務委託導入の研究・検討	経費削減、市民サービス向上	効率的な行政運営が可能

## V 経常的な経費の見直しと歳入の拡大

No	取組内容	目的	期待できる効果
①	公共施設の存廃も含めた再編・統合	経費削減、業務効率化	持続可能な財政運営を実現する
②	扶助費増嵩の分析およびその対応	扶助費の抑制	持続可能な財政運営を実現する
③	経常収支比率の分析、改善策の検討	経常的な収支の改善	持続可能な財政運営を実現する
④	家庭ごみ収集の有料化	歳入の確保とごみの減量インセンティブ	持続可能な財政運営を実現する
⑤	市有財産（土地・建物）の有効活用	歳入の確保	持続可能な財政運営を実現する
⑥	システム経費の見直し	システムの違いに起因する経費増大の見直し、経費削減	システム経費の削減
⑦	広告収入等による収入確保 （スポーツ施設・公共施設等）	歳入の確保	持続可能な財政運営を実現する
⑧	使用料・手数料等の適正化	受益と負担の適正化	持続可能な財政運営を実現する

# 推進体制

